

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公開番号】特開2008-259649(P2008-259649A)

【公開日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2008-043

【出願番号】特願2007-104331(P2007-104331)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月9日(2010.3.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

縦長矩形状に形成された外枠と、

前記外枠の前面一侧に軸支されて開閉自在に設けられた本体枠と、

前記本体枠に収容され、主として遊技領域が形成される遊技板部を有する遊技演出ユニットと、

所定の発射位置から遊技球を発射し、遊技領域の上部に設けられる球投入口から当該遊技領域へ遊技球を打ち込む発射装置と、

前記発射装置に隣接して前記本体枠に設けられる第一レール、

前記遊技板部に設けられ、前記第一レールにて案内される遊技球を前記球投入口へ案内可能な第二レール、及び

前記第一レールと前記第二レールとの間に設けられ、両レールを一連とする第三レールからなる案内レールと

を有し、

前記第三レールは、

遊技球が前記発射装置により前記球投入口まで到達する勢いで発射された場合における当該遊技球の弾道よりも下方に、その上面が位置するよう構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第二レールと前記第三レールとの間に、ファール球を受け入れ可能なファール口が形成されており、

前記ファール口は、

遊技球が前記発射装置により前記球投入口まで到達する勢いで発射された場合における当該遊技球の弾道よりも下方に位置するよう形成されている

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記ファール口は、

前記遊技板部の前構成部材に形成されている

ことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の遊技機は、縦長矩形状に形成された外枠と、前記外枠の前面一側に軸支されて開閉自在に設けられた本体枠と、前記本体枠に収容され、主として遊技領域が形成される遊技板部を有する遊技演出ユニットと、所定の発射位置から遊技球を発射し、遊技領域の上部に設けられる球投入口から当該遊技領域へ遊技球を打ち込む発射装置と、前記発射装置に隣接して前記本体枠に設けられる第一レール、前記遊技板部に設けられ、前記第一レールにて案内される遊技球を前記球投入口へ案内可能な第二レール、及び前記第一レールと前記第二レールとの間に設けられ、両レールを一連とする第三レールからなる案内レールとを有し、前記第三レールは、遊技球が前記発射装置により前記球投入口まで到達する勢いで発射された場合における当該遊技球の弾道よりも下方に、その上面が位置するように構成されていることを特徴とする。